



『我らの必要全てを満たして下さる父なる神様』

(祈る人の特権とその祝福④)

説教者: 鄭南哲牧師

(Rev. Jung nam-chul)

聖書箇所: マタイの福音書6章9-15節/暗唱聖句: ピリピ人への手紙4章19節

1. 本日CPC18周年を迎え全て主に感謝！CPC全信仰の家族の存在にも感謝！

愛するクリスチャンプレイズチャーチ信仰の家族みなさん！本日教会設立18周年おめでとうございます！

まず、18年間ここまで守られ、導いて下さった神様に心から感謝と賛美をお捧げします。18年間の歩みを振り返って見ると、すべてが主の恵みでした！キリストの御体なる主の教会と神の家族の群れを、特に大変なこの2年間のコロナ禍の中にあっても、今日まで見守り、必要なすべてを満たし、ここまで導いて下さった神様の愛と御恵みに心から感謝し、御名をほめたたえます！そして、共に今日まで献身的に仕えて来て下さっている教会全信仰の家族の皆様のご存在にも心から感謝致します！

開拓3年目には、当時まだ子ども含め教会家族約20名程度の時、みんなの切なる祈りと大きな献身のゆえ、子どもたちまで自分の貯金箱まで惜しみなく共に捧げつつ、ついに2006年7月7日今のこの教会堂が与えられ、そのうちに加えられた教会家族のみなさんの献身とお捧げ続けて下さったゆえに、12年間にわたって今から3年前の2018年11月に教会堂の全返済済みとなり感謝で、感無量した！

そして、神様は外部の会堂が与えられその土台がしっかり整えられ、築かされて来るうちに、また、教会の内側の面でもその土台をちゃんと備え、導いて下さいました！クリスチャンプレイズチャーチが、聖書的な主の教会としてしっかり建てられるように、聖書の初代教会の本質に立ち返り、本来のキリストの体なる姿を取り戻すことが出来るように、家の教会(牧場)の集いに導いて下さいました！3年間の準備(2014年9月-2017年5月)を通して、今の牧者と予備牧者の方々が、家の教会信徒セミナー(松原聖書教会、知立キリスト教会)まで参加され、2017年6月から、3牧場(タイ江南(小助川佳子牧者)・ひかり(箕輪勇気・智絵牧者夫婦・予備牧者福井雅巳・レイディ夫婦)・オハイオ牧場(棚橋真之介・恩恵牧者夫婦)でスタート！2018年3月:信徒総会にて、公式に家の教会へ導入&転換が決定され、3つの家の教会のうちに、また2019年3月オハイオ牧場が増殖され、新しく(三重牧場:川副真生・まゆみ牧者夫婦)が誕生され、感謝感謝でした！その日以来、我らのクリスチャンプレイズチャーチは一つですが、教会の中では4つの家の教会牧場が毎週集われて来ています。4つの牧場の牧者の方々と予備牧者の家族が一人一人の尊い魂を愛され、神の御救いとキリストの弟子を生み出す為に、今日まで献身的に仕えて下さっていること、特に、この約2年間の大変なコロナ禍が続いている中であっても、各牧場の家族を顧みて、祈り、助け、キリストの愛を持って仕えて下さっている牧者や予備牧者の方々に心から尊敬と感謝をしております！そして、その牧者たちを大切に支え、協力して下さっている牧場家族のみなさんのお一人お一人にも心から感謝申し上げます。

クリスチャンプレイズチャーチのもう一つの大きな感謝は、我らの教会では2年前から、いのちのように大切な教会の約25人の子供たちの信仰継承と教育のため、アワナを導入しました。幼稚部のカビーズからJV中高生の次の世代のため、毎週30代～70代までのリーダー先生たち10人、協力アシスト先生たち5人、後ろで様々な事務や行政の献身的なご奉仕をして下さるセクレタリー2人の方々の尊い献身と仕えに心から感謝を申し上げます！

その結果、2年間のうちに6人の子供と学生が受洗され、今もクリスマス礼拝の受洗希望で準備している4人中2人の子供が受洗学习中です。これからもアワナを通して、大切な子供たちがしっかり神の御言葉に触れられ、救われ、信仰によってより立派に成長して行くことを祈りつつ、共に励んで行きたいと願っています。

そして、個人的に牧師として、ずっと3階を牧師館として使われて来ましたが、昨年より新しく牧師館の備え(毎月教会7万円+牧師5万円(公課料))て下さったことも神様に、そして、みなさんに改めて心から感謝致します。子どもたちもさらに明るくなり、ゆっくり静かに休める最高の場所です。特に、8月に息子が友達からコロナに感染されてしまった時に、今の2階建ての牧師館じゃなかったならば、家族全員がきっと感染されてしまったと思いますが、2階にしっかり息子を隔離出来るスペースがあったため、残りの大家族が感染されず、陰性で守られたと信じます。

沖縄に行かれた美代子執事の尊い献身と教会家族の愛の支えによって、過分な快適な牧師館に住まれ、日々感謝しつつ暮

らしております。途中契約が変わる可能性もありますが、後約9年ぐらい共に払い続ければ、教会のものとなりますから、その後みなさんと祈りつつ話し合いながらより良い目的で教会のため、用いられることを期待しております。

まだいつになるか分かりませんが、私の次、私よりもっとふさわしく、もっと素晴らしく整えられた家の教会も経験された後任の牧師が備えられ、導かれることのためにも今からは是非お祈り下されば幸いです。30代の時から、18年間今までみなさんと共に信仰の家族として共に歩まれて来ていることに一度も後悔したことはありません。私自身が色々足りないばかりの者ですが、ここまで導いて下さった教会のかしらなる主イエスキリストがご自身の体であるクリスチャンプレイズチャーチで神のしもべとして牧会の働きを許して下さっている時まで、これからも全てを尽くして祈りと謙遜を持って主に仕え、みなさんに愛の残るところなく背一杯仕え続けさせて頂きたいと願っております。

神様は我々を神の救いの御業がなされるよう、ともに協力してキリストの愛の道具として、用いられる事を願っておられます。18周年を迎えまた今日から、さらに神の家族として、ともに愛し合い、赦し合いつつ、キリストの愛のうちに一つとなり、共に仕え合いながら、尊い一人の魂でもこれからも救われる感激と祝福をともに味わって共に進み行くクリスチャンプレイズチャーチの全神の家族となりますよう救い主なる主イエスキリストの御名によってお祈りいたします。アーメン！

<本文>

我々は通常祈るといのは自分中心で、自分の為に、自分の願い、望みを聞いて下さるよう求める手段ぐらいで考えていた我々の祈りでしたが、イエスキリストが教えて下さった正しい祈りはそれと違って“天にいます私たちの父よ。”から我々を通して父なる神の御名があがめられるために、今日も我らに父なる神の御国を体験出来るように、父なる神の御心通りに行われるようにまず祈るという順番でした。

この意味は祈りは単なる人の願い通りかなえてくれる手段ではなく、父なる神が子供である我々と対話をしながら親密に交わられる祝福、そのものである事が分かります。そして、人の願いを求める前に、父なる神の最善なる御心を探り、求め、御力で成し遂げられる最高の祝福のものである事も確かめ、改めて教えられました。世の多くの人々が考えているようにいつも人が願い、求める通り左右され従ってその全部を答えて下さる神だとそれは真の神ではなく、まるで人が神みたいになっているような気がします。そのような祈りはイエスキリストがこう祈りなさいと教えて下さった祈りとは大分差があることにも気づかされたと思われ

ます。
“天にいます私たちの父よ。我らの祈りと神の子どもとして、ふさわしい行いを通して、聖なる神の御名があがめられ、あなたに栄光を帰することができますように。今日も父なる神の国が、我らの心、思い、生活、家庭、関わっているすべてのところに来ますように、神の御国でのように、神の御心が全てなされるように、父なる神よ。どうか私を、私たちを治めて導いて下さいますように！”と祈ることにより、祈る者の特権とその祝福について大切に学んで来ております。

先週一週間、みなさんは語られた神の御言葉通り、祈られましたか。もし、先週も色んな理由で祈ることが出来なかった方や後回しにして忘れてしまった方がいるなら、諦めないで下さい。イエス様の弟子たちさえも、疲れて眠ってしまい、祈り続けられなかったもので、まだ我らに希望があります。今もなお我らと共におられる天の父なる神様は

ただ御子イエスキリストを信じて救われるだけで望まれるお方ではなく、神を信じる子どもたちとお互いに親しく、親密に交わる喜ばれるお方である神様を学ばされています。

そして、今も信じる全ての神の子どもたちに、一番良いものを与えようされ、必要全てを満たそうとしておられるお方であることを忘れないで頂きたいと願います。ですから、祈らなければ祈り以上の人生にならないことを信じ、神様のためではなく、信じる我らの為に、この地上でも神の御国の豊かさを体験させ幸いな人生を歩ませるためであることを覚えて頂きたいと願っております。

しかし、愛するクリスチャンプレイズチャーチのみなさん！絶対誤解しないで下さい。イエス様が教えて下さった主の祈りは、祈る我らがまず、優先に、父なる神の御名、神の国、神の御心になるように求めるようにという意味であって、今の人の必要さについて祈ってはいけないという意味では決してありません。その証拠が今日の本文の11節です。

2. 今日の本文: 今日も日ごとの糧のため祈りなさい!

①日ごとの糧の意味: ①実際食べ物の為 ②今日一日を生きるために、一番必要なこと

今日は本文11節のイエス様は祈る時に、「私たちの日ごとの糧を今日もお与え下さい。」と祈るように、教え、命じられています。今も、この祈り通り祈ることがとても大切で、必要があります!

愛するみなさん! 人が生きて行くのに一番必要なことは何でしょうか。もちろん、人が生きるために、基本、衣食住が必要ですが、その中で最優先なのが、食べ物でしょう。人が生きるために、食べ物が備えられなければ当然生きることが出来ません。実は、今も世界ではどれほど食べ物がなくて苦しんでいるのかご存じでしょうか。子どもたちのみなさん、1~5まで数えて頂きますか。1, 2, 3, 4, 5=1人、1, 2, 3, 4, 5=2人、どういうカウントかとする、2005年基準で世界中10歳未満児童が5秒で1が食べる物がなくて、飢餓でなくなっているということです。ビタミンAの不足で視力を失っている人が3分に1ずつ、視力を失っていることをご存じでしょうか。

世界のUN事件委員会の食料特別調査官だったスイスのジュネーヴ大学のジャン・ジラ教授によると、世界人口7分の一、8億5千万人が今も、世界中飢餓(きが)で慢性深刻な栄養失調(えいようしつちょう)で苦しんでいます。東南アジアの人口の18%(5億5千万人)、アフリカの人口35%(1億7千万人)、ラテンアメリカやカリブ海人口の14%が食べる物が少なく飢餓で苦しんでいます。地球村の反対側では、肥満や食べ物のゴミ処理で苦しんでいます。アメリカで生産できる穀物潜在量だけでも世界の人々が食べれるのに、フランスの穀物生産量だけでヨーロッパ全人口が食べれて生きれるのに、どうして今も飢餓がこんなに発生しているのでしょうか。

今日の11節で、私たちがぜひ注目すべきところがあります。それは、今日教えられた祈りが“私の日ごとの糧”では“私たちの日ごとの糧をお与えて下さるよう”でした。どんな意味でしょうか。自分だけではなく、食べ物が、助けが必要な全ての人々の為に、その食べ物や必要が与えられるように祈ることをイエス様は教えて下っています。

今、日本にいる我々は、この日ごとの糧(食べ物、食料)のためには、祈る必要性がまったくないかも知れません。

しかし、自分に今食べ物が溢れているから、祈らなくて良い祈りでは決してありません。今も、地球村の5人の一人の子どもが食べる物がなく亡くなっている現実を覚え、今日も生きるために食べ物が与えられるように祈らなければなりません。そして、それだけではなく、そのように祈る我らに、今も食べれず苦しんで助けが必要な人々に我らが、分け与えることが出来るように祈る責任と使命が与えられている祈りであります。

①日ごとの糧の意味: ②今日一日を生きるために一番必要なもの

イエス様は、人に必要な者として、まず、日ごとの糧のために祈るように教えて下さっています。先ほど言われたように、一次的には実際食べ物であります。毎日の食べ物のために、祈ることはその程度の意味だけではありません。「日ごとの糧は毎日生きるために一番必要なもの」をも意味します。人によっては、今日一日、健康が与えられ守られなければ生きれない人がいます。安全が守られなければ、死にたい衝動に落ちている方々にとっては心の平安がなければ、夫婦間系が守られなければ、子どもが守られなければ、職場での働きが守られなければ生きれない、愛がなければ、信仰がなければならぬ方々など今日一日に生きるために、一番必要なことが人々によって異なるでしょう。

ですから、日ごとの糧というのは単なる食料、米、パンだけで限らず、今日一日中自分が生きるために、具体的に一番必要な事、大切な事を主に求め、祈るように教えて下さっている意味であります。イエス様は私たちに今日の一日に生きるために、一番大切に必要なることをも祈るようにと教えて下さっているのです。

イエスキリストは、「私たちは日ごとの糧を今日もお与えください。」と毎日の自分の一番必要さを具体的に祈るように教えられています。創世記28章20節では神様の人であるヤコブが自分の必要を神様が与えて下さったことについてこう告白しています。「ヤコブは誓願を立てて言った。「神が私とともにおられ、私が行くこの旅路を守り、食べるパンと着る衣を下さり、」ここでヤコブは食べるものと着る物さえも実際神様がすべてをお与えて下さったと証しています。

93年8ヶ月5日間まで、この世を生きながら、5万回以上祈りを聞かれたジョジ・ミュラー先生は2000人を超えた親がいない孤児の子どもたちを預かりながら、たった一度も人に借りたことも、ものごいたこともなかったそうです。

彼はただ真実な父なる神のみを信頼し、毎日愛する主の祈りを心から信じ、従ってこのように懇切に祈られました。“愛する主よ。今日もあなた様が愛するこの小さな命たちのために、私たちに必要な日ごとの糧をお与えて下さい。”

世界の教会の歴史を調べて見ますと、初代教会の時から中世時代に至るまでは出て来た変な一つの信仰のやり方がありました。それは‘禁欲主義’という間違った信仰の現わしと形でした。もちろん、初代教会時代にはとても敬虔な信仰者もいましたが、初代教会の時代から中世時代に至るまで教会の中では、禁欲主義という特徴はあり、禁欲主義は教会の中で二重的、二分(にぶんほう)的でした。つまり、霊は尊いものであって、肉体と物質や現実は全部汚れたものであって、卑(いや)しいもののように分けて考えたわけです。ですから、時々肉体的な欲望やこの世への関心、必要さが生じる時には自分の体を虐待したり、この世は世俗(せぞく)だから離れ、全てと断絶し、隠れて住む場合もありました。神様は使徒パウロを通して初代教会にそのような間違った禁欲主義的な信仰に関してこう指摘しました。

テモテへの手紙第一4章1節以下の、特に3-4節も読んで見ましょう。「彼らは結婚することを禁じたり、食物を断(た)つことを命じたりします。しかし食物は、信仰があり、真理を知っている人が感謝して受けるように、神が造られたものです。:4神が造られたものはみな良いもので、感謝して受けるとき、捨てるべきものは何もありません。」と言いながらこのような禁欲主義的な信仰を惑わされないように、心を奪われないで気をつけるように教えられています。人の食べることも、体に必要なものにも信仰が必要であり、食べものをも、捨てたり、かるんじく思ったりするのではなく、神様から与えられたものとして、大切に感謝して受けるべきであることをも教えられています。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！なぜこの話をするのですか。ここで私たちも間違わないように覚えるべきことは何でしょうか。自分に具体的な必要なために祈ることを決して信仰がないとか、信仰が弱いからそんなふう
に祈りをするのだとむやみに判断してはいけないということです。却って祈らずに、人間的な頭や考えをもって心配するのが不
信仰であって、自分に必要な事を具体的に祈る事は正しい信仰の姿であり、イエス様が教えて下さった通りの正しい祈りである
事を忘れないでください。

私たちの主イエスキリストはひもじい人たちのために奇跡を行われ、彼らに糧を供給(きょうきゅう)された方でした。イエス様は道端で苦しんでいる人たちを哀れんで下さり、彼らに手を伸ばして彼らを回復し、いやしの御手を差し伸べて下さったお方です。つまり、イエス様は我々の現実についても、日々必要な一番基本である、食べることさえも、よく関心を持っておられ、助けて、与えて下さる神様であられることを主の祈りを通して教えられます。そのイエス様が今私たちにも“日ごとの糧をお与えて下さい”と祈るように命じておられます。

そして、それも、自分だけではなく、自分だけではなく、私たちの必要なすべてを具体的に父なる神様が与えて下さるように祈る
ように命じ、教えて下さっていることから、共同体信仰と執り成しの祈りの大切さを教えて下っています。つまり、自分だけではなく、私たちの日ごとの糧を、つまり、教会の各兄弟姉妹に、主の教会にも、等しく日々必要なすべてが具体的に満たされ、与えられるように祈る事であります。

そして、そう祈る祈る為には、他の兄弟姉妹たちに毎日何が具体的に一番必要であるか知らなければなりません。

どうして、牧場が必要であるか、その大切な理由が今日の主の祈りの中に含まれているわけではありませんか。

お互いに、今、今週、毎日何が一番必要であるか、具体的に祈り課題を分かち合い、共にその場で、また一週間毎日祈ることのために、牧場での深い交わりと正直な祈り課題の分かち合いは重要でしょう。このプロセスなしで、私たちの日ごとの糧をお与え下さるように具体的に祈ることが出来なくなります。

毎日自分含め、私たちの毎日一番必要なものが与えられるようにお互いの為にも関心を持って、共に祈り、共に助け合うクリスチャンプレイズチャーチの全信仰の家族となりますように切にお祈り申し上げます。

3. 日ごとの糧を祈ることは、父なる神様への絶対信仰が必要な祈りです。

それでは今日の「今日も日ごとの糧をお与えて下さい。」というこの祈りの中で一つ注目してみたいところがあります。それは、イエス様が教えて下さった祈りの中には一週間とか一ヶ月分の糧のためではなく、日ごと(毎日一日の分)の糧というものでした。

その日その日に、毎日必要な糧の分のための祈ることをイエス様は教え、命じて下さっていることに注目しなければなりません。

同じ内容が書かれているルカの福音書11章3節を読んで見ますと、「私たちの日ごとの糧を、毎日お与えください。」と書かれています。ここで毎日強調されています。なぜ、どうして毎日つまり、一日の分だけを祈るようにと、それはどういう意味なのか。これは自分の必要のために捧げる祈りではありますが、決して人の贅沢や欲張りのための祈ってはいけないことを教えて下さっています。すなわち、その日、今日の一日を生きるために、自分の一番大切な必須(ひつす)のために祈りなさいという意味なのです。

私たちにいつも励ましとなっているピリピ人への手紙4:19節では、「また私の神は、キリストイエスの栄光のうちにあるご自身の豊かさにしたがって、あなたがたの必要をすべて満たして下さいます。」と約束されています。

出エジプト記でイスラエルの民は、食べる物を求めた時にも、毎日一日の分だけを神様は与え食べさせて下さったのです。「たくさん集めた人にも余ることはなく、少しだけ集めた人にも足りないことはなかった。自分が食べる分に応じて集めたのである。 (出エジプト記(Exodus)16章18節)」

愛する信仰の家族みなさん！私たちが心から求め祈れば、我々の必要なすべてを満たして下さると約束されています。しかし、日々という限定された神様の御意図を忘れてはいけないことは、そうじゃなければ、人はいつも、自分の欲張りや欲しがる通り必要以上を要求しようとすることを、ご存じだったからではないでしょうか。

“日ごとの糧”これは明日も神様がまた祈る全ての者に与えて下さることを絶対信じなければ、その信仰がなければ感謝しつつ、安心して祈れないでしょう。毎日必要な分を求め、頂きながら、毎日生きておられる神を体験出来るように、自身の力で生きるものではなく、徹底的に父なる神に頼りて、すがりて、委ねて生きる事が出来るように！毎日神の御力、御助け、満たしを体験出来るように、父なる神様の私たちに**対する配慮であり、神様の約束**であります。

4. 日ごとの糧どのぐらい求めたらいいのか。: 私たちの分

最後に愛する信仰の家族のみなさん！私たちがぜひ注目すべきところがあります。

それは、今日教えられた祈りが“私の日ごとの糧”では“私たちの日ごとの糧をお与えて下さるように”でした。どんな意味でしょうか。神様が私たちに必要なすべてを与えて下さるのは自分だけではなく、助けが必要な人々の為の分け与える分まであります。自分だけではなく、私たちの日ごとの糧を、つまり、教会の各兄弟姉妹に、主の教会にも、等しく日々必要なすべてが満たされますように祈る事であります。そして私たちの助けが必要な人々にも分け与えることができる分まで求めれば、いかがでしょうか。メッセージを終わらせたいと思います。18周年を迎えられたクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族我らが今も日本中、世界中に日ごとの食べる物が必要な人々のためにも祈り、分け与えることがさらに出来る教会とみなさんとなりますように祈ります。そして、毎日個人の一番必要さを主に祈り、牧場、教会の兄弟姉妹たちの日々一番の必要さが全て与えられますように私も続けて毎日切に祈ります。我らの教会にも全ての必要さに主が必要な分を父なる神様が豊かに与えて下さいますようにお祈り申し上げます。アーメン！



設立18周年感謝
日本同盟基督教団
クリスチャンプレイズチャーチ

Christian Praise Church